

2006年11月8日  
昭和電線ホールディングス株式会社  
(コード番号 5805)

## 中国東莞に第4のワイヤハーネス生産拠点を設立

昭和電線ホールディングス株式会社(取締役社長 富井俊夫)は、成長事業分野のワイヤハーネス事業について、ベトナムに続く第4の海外生産拠点として中国広東省東莞市に現地法人を設立し、2006年12月より操業を開始いたします。

これまで中国華南地区向けを中心としたワイヤハーネス事業は、香港昭和有限公司の来料加工工場である東莞工場で生産・供給してきましたが、需要の拡大に伴い生産能力拡大が急務となっていました。また、中国市場向け製品のワイヤハーネス需要が拡大していることから、第4の生産拠点は、人民元取引のニーズに対応した独資企業とし、来料加工工場がある中国広東省東莞市に併設することといたしました。

第4の生産拠点を立ち上げることにより、更に競争力を強化し、第7次中期経営計画で掲げた成長事業の拡大を加速して行きます。

### 記

#### ◇会社の概要◇

- ① 社 名 東莞昭和機電有限公司
- ② 設立目的 ワイヤハーネスの製造・販売
- ③ 所在地 広東省東莞市莞城区莞龍路段獅龍路 莞城科技园
- ④ 代表者 総経理 南 眞一郎
- ⑤ 出資形態 独資(株式会社ダイジ90%、香港昭和有限公司10%出資)
- ⑥ 資本金 700,000米ドル
- ⑦ 操業開始 2006年12月
- ⑧ 売上高 10億円(2007年度計画)
- ⑨ 工場面積 約4400㎡
- ⑩ 従業員数 約400名(2007年度計画)

家電、事務機器等を中心に展開するワイヤハーネス事業は、中国の浙江省嘉興市、広東省東莞市、ベトナムのハノイ市の3拠点で海外生産を展開していますが、第4の生産拠点を独資で設立することにより、中国市場をにらんだ日系セットメーカーのニーズをキャッチアップすることが可能となり、ユーザーに密着した供給体制が整います。

ワイヤハーネス事業の中期経営計画最終目標である売上高100億円(2007年度、連結ベース)の早期達成を目指してまいります。

以 上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

総務統括部 広報課 03-5532-1911